

## 謝 辞

このたびは、多くの皆様方のご協力を得まして、「Japio YEAR BOOK 2017」を発行することができましたことを、心より御礼申し上げます。

今回より、特集記事を隔年で掲載することとし、今回のテーマを「PI×AI（特許情報×人工知能）～第四次産業革命が特許情報の未来をどう変えていくのか～」としました。ご多用のなか、国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター 辻井潤一 研究センター長、特許庁総務部企画調査課 今村亘 課長、早稲田大学法学学術院 上野達弘 教授、東京大学大学院情報理工学研究所ソーシャル ICT センター 橋田浩一 教授、一般社団法人日本知的財産協会 久慈直登 専務理事、並びに、株式会社 NTT データ様、日本アイ・ビー・エム株式会社様、株式会社日立製作所様にご寄稿頂きました。ここに深甚なる感謝の意を表します。また、官公庁、各種団体、大学、企業等の各界を代表される方々から多数のご寄稿や情報システム・サービスの紹介を賜りましたことを、重ねて厚く感謝申し上げます。

本誌に掲載された情報は、特許情報や技術情報に関係される多くの方々により有益な情報となり、さらに情報システム・サービスを提供しておられる各社様の今後のご発展の一助になるものと確信しております。

当財団は、質の高い特許情報を提供することにより、経済社会への貢献を目指すことを理念として、企業の技術開発の促進等に貢献すべく、特許情報の充実と普及啓発に取り組んでおります。今後もこの理念を時代に沿った形で実現していくために、特許情報の「機械翻訳」や「検索」に関する技術の研究を通じた、当財団が提供する特許情報の品質向上及び高度化に努めて参ります。さらに、「産業日本語」の研究・普及、「Japio YEAR BOOK」の発行や「特許情報フェア&コンファレンス」開催などの機会を通じて、特許情報に関連する知見や最新技術動向を広くお知らせし、社会に貢献していく所存です。

今後とも、私ども一般財団法人日本特許情報機構に対して、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、謝辞とさせていただきます。